

# ユニファイドスポーツ®・レクリエーション・ガイドライン



## ユニファイドスポーツ・レクリエーション・ガイドライン

スペシャルオリンピックス・ユニファイドスポーツ®では、知的障害のある人とない人が競技のトレーニングと競技会の経験を共有することにより社会参加を促進する。ユニファイドスポーツ・レクリエーションは、スペシャルオリンピックス・アスリートと知的障害のないパートナーのための包括的なレクリエーション競技の機会である。このモデルがユニファイドスポーツ・コンペティティブモデルやユニファイドスポーツ・プレーヤーデベロップメントモデルと違う点は、このモデルではスペシャルオリンピックス公式スポーツルール第1章総則セクションMに規定されているトレーニングや競技会、チーム構成に関する所定の要件に従わないことである。こうしたレクリエーションの機会は、学校、スポーツクラブ、地域、そして公私を問わずさまざまな機関とパートナーシップを組み、1日限定の紹介イベント、展示会、デモンストレーション（ユニファイドスポーツ体験を含む）、あるいは体育の授業や校内競技のような継続的活動として開催することができる。

ユニファイドスポーツ・レクリエーションは-----

- 同程度の年齢や競技能力のアスリートとパートナーでチームを構成する必要はない。
- アスリートとパートナーがシーズンまたは学期を通して一緒に参加するトレーニング（例えば体育の授業）や競技会（例えば校内競技）の機会も含めることができる。
- バasketボールからヨガまで、さまざまなスポーツやその他の身体的運動を含む。身体の運動でなければならない。
- 1日体験イベントの後で、一定期間にわたり行う運動でなければならない。
- 現在は公式競技会の機会はないが、スペシャルオリンピックスのイベントで展示やデモン

ストレーションが承認されている。

- 学校では、project UNIFY の包括的な競技条件を満たしている。
- プログラムよりも下のレベルで提供されている。リージョナル大会や世界大会は行っていない。
- 賞の授与はない。ただしプログラムによっては表彰を行う場合がある。



## 成功の条件

1. パートナーとアスリートにとって意義のある参加でなければならない。すなわち、アスリートはマスコットやマネージャーとしてではなく、参加者として競技や運動に関与しなければならない。
2. 動作、コーディネーション（身体各部の協調）、基本的な運動能力を含む身体的運動を選ぶ必要がある。
3. ユニファイドスポーツ・レクリエーションは、スペシャルオリンピックス公式スポーツルール第1章総則に規定されているスペシャルオリンピックスおよびユニファイドスポーツの理念を理解しているコーチまたは指導者が監督しなければならない。
4. 参加者の競技能力レベルはさまざまだが、参加者は意義のある適切な方法でチーム一体となり運動に参加する必要がある。ユニファイドスポーツの目的である知的障害者の社会参加はアスリートとパートナーが同程度の競技能力である時に最も良い形で実現されるが、ユニファイドスポーツ・レクリエーションモデルでは同程度の競技能力は求められていない。
5. チームの構成については、ユニファイドスポーツ・ガイドラインの基準となる比率に従う必要はないが、チームメンバーの少なくとも25%がアスリートかパートナーであれば、ユニファイドスポーツ・レクリエーションの目的である社会参加は達成されている。このように、ユニファイドスポーツ・レクリエーションでは、すべての参加者にとり意義のある参加である限り、スペシャルオリンピックス・プログラムの必要に応じ、上記の比率は調整することができる。
6. ユニファイドスポーツ・レクリエーションは、定期的な参加のスケジュールが組める一貫した枠組みで行う必要がある。運動はそれほど体系的でなくても、質の高いものでなくてはならない。

## 事例

**体育の授業：**高校の体育の授業で、知的障害のある生徒とない生徒がシーズン中毎回一緒にバスケットボールをする。

**パートナーズクラブ：**バスケットボールクラブのグループで、知的障害のあるメンバーとないメンバーがクラブの定期的な活動の一環として土曜日に一緒にボウリングに行くことにしている。

**校内チームまたは地域との自由／公開プレー：**大学生のグループが地域のスペシャルオリンピックス・アスリートを招き毎週日曜日の晩にバレーボールをする。

**展示会／デモンストレーション：**ユニファイドスポーツ体験などの1日限定イベントを学校や地域のスポーツクラブ・スポーツ組織などと一緒に開催し、そこでは知的障害のある人とない人がチームメイトとして主役になり、啓発、体験、資金集めなどを行う。

Copyright ©2012 Special Olympics, Inc. All rights reserved.

当トレーニングにおいて提供されるすべての資料の著作権はスペシャルオリンピックス国際本部に属する。意図した目的以外の使用は認めない。

いかなる場合も、スペシャルオリンピックス国際本部の書面による明確な許可無しに商業上の目的でこれらの資料を複写、複製、頒布、または展示してはならない。